

各 位

2020年3月2日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

麻薬、媚薬、毒薬――。毒と薬の専門家が贈る、『禁断の植物園』へようこそ。人間の欲望を満たし、時にその闇へ陥れる、麻薬や有毒植物、薬用植物 36 種を紹介。

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『禁断の植物園』（船山信次／著）を刊行いたしました。



危険なほど、美しい。

人間の欲望を満たし、時にその闇へ陥れる、麻薬や有毒植物、薬用植物 36 種を紹介。

本書の世界は、さまざまな魅力で人間を惑わせる、危険で美しい植物が集まる“禁断の植物園”です。

麻薬や媚薬として人間を虜にする植物の「第一章 誘惑のアーケード」、古くから薬として応用されてきた植物の「第二章 秘密の薬草畑」、死をもたらす毒草が並ぶ「第三章 死のプロムナード」、ミステリアスな一面を持つ植物の「第四章 謎めいた花園」の4つのエリアをめぐりながら、禁断の植物の世界をご案内します。

ケシやアサなどの麻薬、宗教儀式に用いられる幻覚剤、世界初の全身麻酔薬、魔女の薬の材料、暗殺や処刑、神明裁判に用いられた植物――。

植物たちの何が人間を惹きつけ、溺れさせるのか？

各種に美しい挿絵を添え、植物の持つ身体や精神に与える作用、現代薬への応用、人間の歴史との関わり、ミステリアスな逸話などを紹介します。

## 第一章 誘惑のアーケード

私たちの感性をくすぐり、世界中の人々に愛される花。禁断の植物たちの中にも、美しい花を咲かせて私たちに魅了するものはいくつもありました。また、観葉植物では葉、盆栽の分野では木本植物の枝ぶりをも、私たちは鑑賞の対象としています。さらに、植物たちの中には、その美しさだけではなく、種々の能力を持つ、私たちの衣食住に欠かせないものもあります。たと

えばワタやアサは、衣服の原料となる繊維を提供してくれますし、米や麦、トウモロコシ、ジャガイモは、種々の民族の主食といわれるような重要な食料となります。また、さまざまな野菜や果物は、私たちの日々の食事の材料となるだけでなく、食生活を豊かにものしてくれています。食料となる植物の中でも、甘い味や独特の香りを呈するもの、香料となる植物の中にも、単に食欲を満たす以上に私たちに魅了しますし、住まいにおいて植物は建築材となるほか、家具や日用品などの材料にもなっています。

私たち人間には、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、および触覚の五感がありますが、植物がこれらに強く働きかけた結果、歴史が大きく変わったこともあります。たとえば、中近東原産のチューリップは、一六世紀にオランダ商人によって自国に紹介されました。

清純な姿に秘められた薬性

## スズラン

*Convallaria majalis* var. *mandshurica* 【シキヤク科】

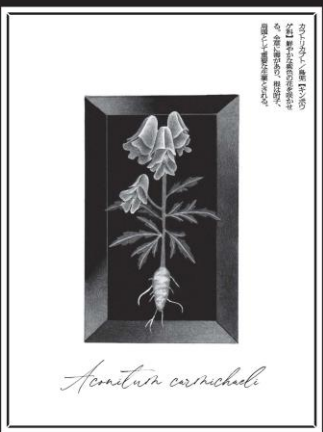
スズランは、白い鈴のような可憐な花をつけ、その花の香りも良いことから香水の原料とされています。とくに、庭にはよくヨーロッパ産のドイツスズラン（ドイツ鈴蘭、*Convallaria majalis*）が植えられています。ドイツスズランは花房が葉の上に出て咲くので鑑賞しやすいですが、日本産のスズランは、のように花房が葉の下で密やかに咲くので、ドイツスズランの方が好んで栽培されるようになったわけです。スズランは、四月から六月にかけて花を咲かせる春の花です。日本において



*Convallaria majalis* var. *mandshurica*

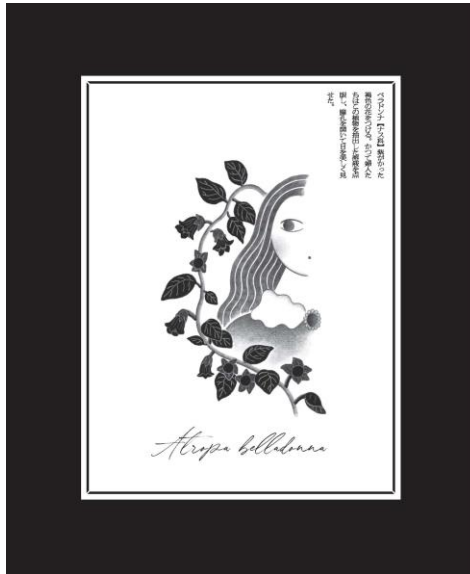
第四章 秘められた花

トリカブトの根は、漢方では、子根を附子、母根を烏頭と称する重要な生薬でもあります。現在処方されている附子が配合されるエキス製剤の中でよく知られているものとしては、八味地黄丸などがあります。ただし現在のトリカブトの根を薬として使用する場合には、熱をかけるなどの処理をして減毒したものが用いられるのが普通です。野生のトリカブトは、素人は決して使うべきではありません。トリカブトの根に含まれる主要な有毒アルカロイドとしては、アコニチンが知られていて、呼吸困難や心臓発作を引き起こす日本産植物由来照指の強毒です。なお、インドではトリカブト毒を「サイシ」<sup>1)</sup>と称したからしく、わが国で使っている附子という名称の語源はこらへんにあるのかもしれない。ところで、ある日、あるホームセンターにて販売されているトリカブトの苗を見たところ、これに「トリカブトは根だけに毒がありません」と書いてあり、怖くありません。これは全く嘘の情報で、トリカブトは全草に毒があります。そのため、とくに春先に、山菜のシドケ（和名モミワザサ、紅葉菜）<sup>2)</sup>と間違えてトリカブトの若芽を摘んだものを食べて中毒する例が



*Amanita muscaria*

第三章 別のフォルム



薬に活用できるのです。しかし、このあとの植物をこぼれにたいていただければわかるように、アトロピンそのものも結構毒性の強い化合物です。そのため、サリンあるいは有機リン系農薬の中毒に対しては、もっぱらPAM (Phosphoramide chloride / プラドキシム) という薬が使われます。この薬には、サリンなどによって不活性化されたアセチルコリンエステラーゼから、サリンなどを引き剥がして、酵素を再び活性化する作用があります。

前述のように、アトロピンがアセチルコリン受容体と結合すると、神経の「興奮」の伝達が阻害されます。すなわち、アトロピンは副交感神経抑制薬としての作用をもっているのです。その結果、瞳孔の拡大などの作用を示します。アトロピンおよびアトロピン類縁の薬品は現在でも、眼科領域で瞳孔を開かせ、運動を抑制する作用のあることから、アトロピン系アルカロイドを含む植物の抽出エキスの薬用量は、胃腸薬に配合されることもあります。

なお、アトロピン系アルカロイドは、その薬用量である一ミリグラム程度以

第二章 科学の薬草編

## ●章立て

### 第一章 誘惑のアーケード

アヘン・モルヒネ・ヘロインを人類に与えた ケシ／千変万変の幻覚を見せるサボテン ペヨーテ／  
芸術家たちに愛された禁断の酒アブサン ニガヨモギ ほか

### 第二章 秘密の薬草畑

美しい瞳を手に入れる目薬 ベラドンナ／ジャンヌ・ダルクの裁判に登場した薬草 マンドラゴラ／  
母と妻を犠牲にした全身麻酔薬実験 チョウセンアサガオ ほか

### 第三章 死のプロムナード

正倉院に眠っていた謎だらけの毒草 ゲルセミウム・エレガンス／リシン入りの銃弾による暗殺 ト  
ウゴマ／ソクラテスの処刑に使われた ドクニンジン ほか

### 第四章 謎めいた花園

殺された弟の血が滴る オトギリソウ／墓地に植えられる悪しき実 シキミ／庭を飲み込む巨大な穂  
パンパスグラス ほか

## ●著者略歴

船山 信次(ふなやま・しんじ)

1951年宮城県仙台市生まれ。東北大学薬学部卒業、同大学大学院薬学研究科博士課程修了。薬剤師・薬学博士。天然物化学・薬用植物学・薬史学専攻。

イリノイ大学薬学部博士研究員、北里研究所微生物薬品化学部室長補佐、東北大学薬学部助手～専任講師、青森大学工学部助教授～教授、弘前大学客員教授などを経て、現在、日本薬科大学特任教授、日本薬科大学薬用植物園園長、日本薬科大学漢方資料館館長、日本薬史学会常任理事などを務める。薬・毒に関する著書を多数執筆し、TV番組やラジオにも出演。主な著書に『毒と薬の世界史』(中公新書)、『〈麻薬〉のすべて』(講談社現代新書)、『毒草・薬草事典』(サイエンス・アイ新書)、『毒一青酸カリからギンナンまで』(PHP文庫)、『毒が変えた天平時代—藤原氏とかぐや姫の謎』(原書房)など。

## ●書誌データ

書名：禁断の植物園

著者：船山信次

装画・挿絵：北村美紀

装幀・組版：佐々木暁

発売日：2022年3月2日

定価：1,760円（本体1,600円＋税10%）

224ページ／四六判変形・並製

<https://www.yamakei.co.jp/products/2821810200.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：白須賀

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)

<https://www.yamakei.co.jp/>